



### 年に一度の現金つかみどり



ポイントカード会の現金つかみどりが今年も開催され、この日のために貯めたアウルカード（同カード加盟店での買い物でポイント付与）の満点カードを持参した大勢の方がくじ引きに挑戦しました。いち早く1等の千円札つかみどりに当選したのは、角マリさん（西町在住）。「万葉の湯入館券がお目当てだった」という角さんは、思わぬ幸運を手にして大喜びでした。加盟店の福袋販売も大盛況となりました。（1月2日）

### 恒例！新春町民の集い



平成31年当別町新春町民の集いが田西会館で開催され、当別町・JA北いしかり・商工会・土地改良区などの共催で町内の各種団体、町民など約250人が参加し、新春の挨拶を交わす姿が見られました。共催団体代表の宮司町長は「町の活性化のためには皆さんの絶大なる支援が必要で、民間の力をぜひ、使わせていただきたい」と話しました。祝宴では鏡開きが行われた他、恒例のお楽しみ抽選会も行われ、JA北いしかり・ロイズ、姉妹都市の大崎市や宇和島市などの商品が景品として用意されていました。（1月7日）

### 気持ちを引き締め 出初式



消防関係者の仕事始めの行事「出初式」が総合体育館で行われ、当別消防職員・当別消防団員の他、関係者約200人が参加しました。各分団ごとの行進から始まった式典では、日本消防協会会長や北海道知事から功労者に対する表彰状の伝達等がありました。宮司町長から「昨年の震災をはじめ災害が多様化しており、消防の果たす役割が大きくなっている。より一層の精進を重ね、各種災害に対処していただきたい」と挨拶があり、消防職員・団員は改めて身を引き締めていました。（1月7日）



心も新たに初射会



当別弓道連盟（後藤正洋会長）の道場開きと初射会が、総合体育館の弓道場で行われました。当別神社の方角に向かって全員で一礼した後、弓道場の四隅を塩や酒で清め、1人2射つつを初射。会員は引き締まった表情で、28m先の的に向け、今年の決意を込めて矢を放ちました。副会長の高橋豊治さんは「今年も各イベントが多数あるので、体調を第一にして臨んでほしい。今年も会員を増やし育てていきたい。興味がある方はお気軽に見学を（毎週木曜の午後7時から、同会場で活動）」と話していました。（1月12日）

お手製の空気砲で大はしゃぎ！



土曜教室（町教育委員会主催）が町内小学生を対象に、当別子どもプレイハウスで行われました。今回はお菓子の筒などを使って「空気砲づくり」。筒の底部分にゴム風船を伸ばした状態で貼り付け、風船部分を手で引っ張り、手を離れた時に筒の反対側から空気を発射するというもの。講師の中山聡さん（札幌市在住）の指導で、子どもたちはどんなものができるのかワクワクしながらも集中して、思い思いのカラフルな空気砲を作成。完成後には、相手チームの的を狙い倒した数を競うなどして楽しみました。（1月19日）



廣 告

廣 告

廣 告

廣 告